

統計法に基づく
一般統計調査



政府統計



2015年社会保障・人口問題基本調査

結婚と出産に関する全国調査

第15回出生動向基本調査

〔結婚されている方への調査票〕

(平成27(2015)年 6 月 1 日 現在の事実)

対象となられた皆さまへ

このたびは調査にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

この調査は、わが国における結婚、出産、子育ての現状と課題を調べるために、国立社会保障・人口問題研究所が全国的に行う標本調査です。これからの日本社会の見通しや施策を考える上で、大切な資料となるものです。この調査票への回答は統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は法律で固く禁じられています。お答えいただいた内容が他にもれることは絶対にありませんので、どうぞ安心してありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

(調査の詳しいご説明は、最終ページにございます)

なお、この調査票の配布と回収(密封封筒)には、都道府県知事(市長・区長)の任命を受けた調査員が皆さまのお宅にうかがいます。ご不明の点は調査員におたずねください。

記入上のお願い

- この調査票は**結婚している 50 歳未満の女性の方**に、ご夫婦のことについて答えていただくためのものです(「結婚している」とは、届出の有無にかかわらず配偶者がいることです)。
- 平成 27(2015)年 6月1日現在の事実について、ご記入ください。
- 回答のしかたは、あてはまる番号に○をつけるものと、必要なことらを書きこむものがあります。
- 回答後の調査票は、回収用の封筒に入れ、ノリづけしたうえで調査員にお渡しください。封筒はそのまま国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、決して途中で開封されることはありません。

厚生労働省
国立社会保障・人口問題研究所

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
日比谷国際ビル6階

電話 (03) 3595-2984 内線4474 / 4471
<http://www.ipss.go.jp>

調査員記入欄

都道府県						
保健所						
地域コード						

EXAMPLE

問1 あなた方ご夫婦の(1)出生年月、(2)結婚生活を始めた年月、(3)結婚を届け出た年月、および(4)初再婚の別と結婚回数について、あてはまる番号に○をつけ、下線の欄に数字を記入してください。

	(1) 出生年月	(2) 結婚生活を始めた年月	(3) 結婚を届け出た年月	(4) 初再婚の別
あなた	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 昭和 2. 平成 3. 西暦	1. 結婚生活開始と同時に 2. 下の年月に届け出た ↳ 1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	1. 初婚 2. 離婚後再婚 } 結婚 3. 死別後再婚 } ()回目
夫	1. 昭和 2. 平成 ____年__月 3. 西暦	____年__月	3. (まだ)届出はしていない	1. 初婚 2. 離婚後再婚 } 結婚 3. 死別後再婚 } ()回目

問2 あなた方ご夫婦がそれぞれ (1)最後に卒業された(あるいは在学中の)学校と、(2)卒業・在学の別について、あてはまる番号に○をつけてください。また、卒業された方は (3)卒業したときの年齢を下線の欄に記入してください。

	(1) 卒業した(または在学中の)学校	(2) 卒業・在学の別
あなた	あてはまる番号1つに○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他 ()	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → (3)卒業した年齢 数字を記入 ()歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)
夫	あてはまる番号1つに○ 1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校(高卒後) 5. 短大・高専 6. 大学 7. 大学院 8. その他 ()	あてはまる番号に○ 1. すでに卒業 → (3)卒業した年齢 数字を記入 ()歳 2. 現在、在学中(休学等を含む)

問3 あなた方ご夫婦が、下の(1)~(3)の時期に住んでいた場所についてお答えください。

	(1) 中学校を卒業したとき	(2) 最後の学校卒業後、仕事を持ったとき※1	(3) 現在の結婚を決めたとき
あなた	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県以外の市区町村 4. 他の都道府県 ↳ _____ 都道府県	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県以外の市区町村 4. 他の都道府県 ↳ _____ 都道府県	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県以外の市区町村 4. 他の都道府県 ↳ _____ 都道府県
夫	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県以外の市区町村 4. 他の都道府県 ↳ _____ 都道府県	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県以外の市区町村 4. 他の都道府県 ↳ _____ 都道府県	1. 現在と同じ居住地 2. 現在と同じ市区町村内 3. 現在と同じ都道府県以外の市区町村 4. 他の都道府県 ↳ _____ 都道府県

※1 卒業後しばらくお仕事を持たなかった場合や仕事に就いたことがない場合、あるいは在学中からお仕事を持っていた場合は、卒業直後の居住地をお答えください。

※海外にいらっしゃる方は、「4」の下線の欄に国名をご記入ください。

● このページでは、あなた方ご夫婦のお仕事についてうかがいます。

問4 あなた方ご夫婦のいろいろな時期のお仕事についておたずねします。下のa～gの各時期における(1)おつとめの状況、(2)職種、(3)おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況※1						(2)職種							(3)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正 規 の 職 員	2 パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	3 派 遣 ・ 嘱 託 ・ 契 約 社 員	4 自 営 業 主 ・ 家 族 従 業 者 ・	5 内 職 ・ 家 事	6 無 職 ・ 学 生	1 主 と し て 農 林 漁 業	2 農 林 漁 業 以 外 の 自 営 業	3 専 門 職	4 管 理 職	5 事 務 職	6 販 売 ・ サ ー ビ ス 職	7 工 場 な ど の 現 場 労 働	1 1 人	2 10 人	3 30 人	4 100 人	5 300 人	6 1000 人 以 上	7 官 公 庁
あなた	a. 最後に学校を卒業した直後※2	回答欄 1～6のあてはまる番号に○をつける 1～4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1～4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける							(1)で1～4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	b. 現在の結婚を決めたとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	c. 結婚直後	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	d. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
夫	e. 最後に学校を卒業した直後※2	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	f. あなたとの結婚を決めたとき	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						
	g. 現在	1 2 3 4 5 6						1 2 3 4 5 6 7							1 2 3 4 5 6 7						

※1 産休・育児休業中の場合は、就業とみなします。休業前のおつとめの状況に○をつけてください。

※2 在学中の方は、前の学校を卒業した直後の状況についてご記入ください。

問5 あなた方ご夫婦の現在のお仕事について、次の(1)～(4)には該当する数字を記入し、(5)については、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	あなたの仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)	夫の仕事について (現在仕事に就いている場合のみご記入ください)
(1) 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり 平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 ＜残業時間も含めた平均的な労働時間をご記入ください＞	1日あたり 平均 <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
(2) 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均 <input type="text"/> 日	週あたり平均 <input type="text"/> 日
(3) 現在の仕事の勤続または継続年数※	およそ <input type="text"/> 年 (1年未満の場合は、1年として下さい。)	およそ <input type="text"/> 年
(4) 先月(5月)の収入	税込み 約 <input type="text"/> 万円 ＜事業収入の場合は、売上から諸経費を差し引いた額を記入してください。次の(5)も同様です＞	税込み 約 <input type="text"/> 万円
(5) 昨年(平成26年)の年収	税込み 0. 1～99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1000万円以上 11. なし	税込み 0. 1～99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1000万円以上 11. なし

※休業からの復帰や社内の業務異動後からではなく、その勤め先に勤め始めた時期からの年数をお書きください。

● 次の問は、**現在お仕事をもちでない方** にかがいます。お仕事をもちの方は問7へお進みください。

問6 あなたは今後、(1)収入を伴うお仕事をしたいですか。お仕事をしたい場合、(2)どのようなお仕事に、(3)どのような理由でつきたいですか。仕事につきたい理由については、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

(1)就業希望の有無 あてはまる番号1つに○	(2)希望する就業形態 あてはまる番号1つに○	あ 最 て も は 重 要 な 番 号 す べ て に ◎ に を ○ を つ け つ け	(3)お仕事につきたい理由
1. すぐにも働きたい 2. しばらく間をおいてから働きたい ↳ () 年後くらい 3. とくに時期の希望はないが いずれ働きたい 4. 今後も仕事をするつもりはない 5. その他 ()	1. 正規の職員 2. パート・アルバイト 3. 派遣・嘱託・契約社員 4. 自営業主・家族従業者・内職		1. 経験・技能を生かしたい 2. 居場所や人間関係を広げたい 3. 時間に余裕ができた(できる) 4. 親族や知り合いに頼まれた 5. 自分の収入を得たい 6. 子どもの教育費のため 7. 生活費のため 8. 貯蓄のため 9. その他 ()

● **すべての方** に、あなた方ご夫婦の結婚とお子さんの数についてうかがいます。

問7 あなた方ご夫婦が、(1)初めてお知り合いになったのはいつですか。(2)婚約あるいは結婚の合意をなされたのはいつですか。また、(3)結婚する前に同棲をしていた期間がありましたか。

(1) 初めて知り合った年月	(2) 婚約または結婚の合意の年月	(3) 同棲期間の有無*
1. 昭和 2. 平成 年 月 3. 西暦	1. 昭和 2. 平成 年 月 3. 西暦	1. ない 2. あった ↳ 年 ヵ月くらい

※同棲期間とは、結婚生活を始める前に生活を共にした期間のことです。

問8 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

ご夫婦が知り合ったきっかけ あてはまる番号1つに○	
1. 学校で 2. 職場や仕事の関係で 3. 幼なじみ・隣人関係 4. 学校以外のサークル活動やクラブ活動・習いごとで 5. 友人や兄弟姉妹を通じて	6. 見合いで(親せき・上役などの紹介も含む) 7. 結婚相談所で 8. 街なかや旅先で 9. アルバイトで 10. その他 ()

問9 あなた方ご夫婦のお子さんについておたずねします。次の下線の欄に該当する人数を記入してください。

これまでに生んだお子さんは	全部で	男の子	女の子
	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入
そのうち生存しているお子さんは	全部で	男の子	女の子
	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入	() 人 いない場合は0を記入

● **すべての方**に、あなた方ご夫婦のご両親とごきょうだいについてうかがいます。

問10 あなた方ご夫婦のご両親の(1)出生年と年齢、(2)最後に卒業した学校についておたずねします。あてはまる番号に○をつけ、下線の欄には数字を記入してください。

	あなた(妻)のお母さま	あなた(妻)のお父さま	夫のお母さま	夫のお父さま
(1) 出生年	[1.明治 2.大正 3.昭和 4.西暦] _____年 生まれ (満____歳)	[1.明治 2.大正 3.昭和 4.西暦] _____年 生まれ (満____歳) ※満年齢の記入は、ご健在の方のみで結構です。	[1.明治 2.大正 3.昭和 4.西暦] _____年 生まれ (満____歳)	[1.明治 2.大正 3.昭和 4.西暦] _____年 生まれ (満____歳)
(2) 学校 最後に卒業した	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()	1. 中学校 2. 高校 3. 専修・専門学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他 ()
※ 旧制の高等小学校、小学校は中学校卒として下さい。旧制の高等女学校は高校卒として下さい。				

問11 あなた方ご夫婦のご両親との同居/別居について、あてはまる番号に○をつけてください。

おたずねの対象時期 ↓		(1)あなた(妻)のお母さま	(2)あなた(妻)のお父さま	(3)夫のお母さま	(4)夫のお父さま
		1 同居 2 同じ市区町村内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなっていた(いる)	1 同居 2 同じ市区町村内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなっていた(いる)	1 同居 2 同じ市区町村内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなっていた(いる)	1 同居 2 同じ市区町村内で別居 3 それ以外の地域で別居 4 すでに亡くなっていた(いる)
各欄のあてはまる番号に1つずつ○					
a. 現在の結婚を決めたとき	あなた	1 2 3 4	1 2 3 4	/	/
	夫	/	/	1 2 3 4	1 2 3 4
b. 結婚直後		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
c. 現在		1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4

問12 あなた方ご夫婦の兄弟姉妹の数を下線の欄に記入してください(亡くなられた方は含めません)。

	(1) きょうだい数	(2) きょうだいの内訳				(3) 結婚している きょうだい	(4) 子どもがいる きょうだい
あなた	あなたを含めて合計 (____)人	兄(____)人 いない場合は○を記入	姉(____)人 いない場合は○を記入	弟(____)人 いない場合は○を記入	妹(____)人 いない場合は○を記入	あなた以外に (____)人 いない場合は○を記入	あなた以外に (____)人 いない場合は○を記入
夫	夫を含めて合計 (____)人	兄(____)人 いない場合は○を記入	姉(____)人 いない場合は○を記入	弟(____)人 いない場合は○を記入	妹(____)人 いない場合は○を記入	夫以外に (____)人 いない場合は○を記入	夫以外に (____)人 いない場合は○を記入

● ここからは、あなた方ご夫婦の妊娠・出産にかかわる事柄についてうかがいます。立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

問13 あなた方ご夫婦は、(1)現在、避妊を行っていますか。行っている場合、(2)避妊の方法はなんですか。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 現在の避妊の実行	(2) 避妊の方法
あてはまる番号1つに○	あてはまる番号すべてに○
1. 現在避妊をしている（不妊手術を含む）	1. コンドーム
2. 以前にしたことがあるが現在はしていない	2. オギノ式・基礎体温法
3. 今まで避妊はしたことがない	3. IUD（リング・コイル・ループ）
	4. ピル（経口避妊薬）
	5. 性交中絶（膈外射精）
	6. 男性の不妊手術
	7. 女性の不妊手術
	8. その他（ ）

● 妊娠経験のある方 にかかいます。妊娠経験がない方は、問15へ進んでください。

問14 あなた方ご夫婦が経験されたすべての妊娠・出産について、(1)妊娠の結果、(2)妊娠/出産の時期、(3)妊娠前の予定のあてはまる番号に○をつけ、下線の欄に人数、年月、年齢を記入してください。6回以上妊娠された方は最後に合計の妊娠回数を下線の欄に記入してください。

	(1) 妊娠の結果	(2) 妊娠/出産の時期	(3) 妊娠前の予定
第1回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad)\text{人} \\ \text{女}(\quad)\text{人} \end{array} \right. \end{array} \right.$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中	→ $\left[\begin{array}{l} [1. \text{昭和} \quad 2. \text{平成} \quad 3. \text{西暦}] \\ \text{年} \quad \text{月} \text{出産} \end{array} \right.$ あなたが（ ）歳のとき [1. 平成 2. 西暦] 年 月 出産予定	1回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第2回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad)\text{人} \\ \text{女}(\quad)\text{人} \end{array} \right. \end{array} \right.$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中	→ $\left[\begin{array}{l} [1. \text{昭和} \quad 2. \text{平成} \quad 3. \text{西暦}] \\ \text{年} \quad \text{月} \text{出産} \end{array} \right.$ あなたが（ ）歳のとき [1. 平成 2. 西暦] 年 月 出産予定	2回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第3回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad)\text{人} \\ \text{女}(\quad)\text{人} \end{array} \right. \end{array} \right.$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中	→ $\left[\begin{array}{l} [1. \text{昭和} \quad 2. \text{平成} \quad 3. \text{西暦}] \\ \text{年} \quad \text{月} \text{出産} \end{array} \right.$ あなたが（ ）歳のとき [1. 平成 2. 西暦] 年 月 出産予定	3回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第4回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad)\text{人} \\ \text{女}(\quad)\text{人} \end{array} \right. \end{array} \right.$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中	→ $\left[\begin{array}{l} [1. \text{昭和} \quad 2. \text{平成} \quad 3. \text{西暦}] \\ \text{年} \quad \text{月} \text{出産} \end{array} \right.$ あなたが（ ）歳のとき [1. 平成 2. 西暦] 年 月 出産予定	4回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった
第5回目の妊娠	1. 出生 → $\left\{ \begin{array}{l} 1. \text{男} \\ 2. \text{女} \\ 3. \text{ふたご以上} \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \text{男}(\quad)\text{人} \\ \text{女}(\quad)\text{人} \end{array} \right. \end{array} \right.$ 2. 流産（死産を含む） 3. 人工妊娠中絶 4. 現在妊娠中	→ $\left[\begin{array}{l} [1. \text{昭和} \quad 2. \text{平成} \quad 3. \text{西暦}] \\ \text{年} \quad \text{月} \text{出産} \end{array} \right.$ あなたが（ ）歳のとき [1. 平成 2. 西暦] 年 月 出産予定	5回目の妊娠をしたとき 1. 早く子どもが欲しかった 2. まだ妊娠するつもりではなかった 3. もう妊娠するつもりはなかった 4. とくに考えていなかった

● 6回以上妊娠された方 → 合計（ ）回妊娠

● **すべての方** にかがいます。

問19 あなた方ご夫婦の今後のお子さんの予定についておたずねします。(1)お子さんの数と、(2)希望の時期について、あてはまる番号に○をつけてください。(2)で「できるだけ早く」「しばらく間をおいてから」とお答えになった場合は、(3)次のお子さんを持ちたい年齢を下線の欄にご記入ください。

(1)今後のお子さんの予定 (現在妊娠中のお子さんも含めて)	(2)お子さんを希望する時期	(3)次のお子さんを持ちたい年齢
あてはまる番号1つに○ 0. (もう) 生むつもりはない 1. (あと) 1人生むつもり 2. (あと) 2人生むつもり 3. (あと) 3人生むつもり 4. (あと) 4人以上生むつもり	あてはまる番号1つに○ 1. できるだけ早く 2. しばらく間をおいてから 3. とくに考えていない 4. 現在妊娠中	あなたが (____) 歳くらいのとき

問20 そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。

0. 子どもは持たない	3. 3人
1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 (____)人

● **今後1人以上のお子さんを生むつもりの方(問19(1)の答えが1人以上の方)** にかがいます。

問21 今後持つおつもりのお子さんの数が、もし結果的に持てないことがあるとしたら、その原因は何である可能性が高いですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

持つつもりの子どもの数を実現できない原因 (可能性)
あてはまる番号すべてに○ 1. 収入が不安定なこと 2. 自分や夫の仕事(勤めや家業)の事情 3. 家事・育児の協力者がいないこと 4. 保育所など子どもの預け先がないこと 5. 今いる子どもに手がかかること 6. 年齢や健康上の理由で子どもができないこと 7. その他 (_____) 8. 持つつもりの子どもの数を実現できない可能性は低い

● **持つつもりの子どもの数(問20の答)が、理想的な子どもの数(問17(1)の答)より少ない方** にかがいます。

問22 持つつもりの子どもの数が、理想的な子どもの数より少ないのはどうしてですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

あ 最 も 重 要 な 番 号 す べ て に ◎ を つ け つ け	1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
	2. 家が狭いから
	3. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
	4. 子どもがのびのび育つ環境ではないから
	5. 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
	6. 高年齢で生むのはいやだから
	7. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
	8. 健康上の理由から
	9. ほしいけれどもできないから
	10. 夫の家事・育児への協力が得られないから
	11. 夫が望まないから
	12. 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから
	13. その他 (_____)

● **すべての方**に結婚、男女関係、家庭、子どもについてのお考えをうかがいます。

問23 結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについてはいろいろな考え方がありますが、下に例として①～⑬のような考え方を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄のあてはまる番号に○をつけてください。

※本問では賛成・反対の立場が取りやすいよう断定的な表現を用いています。また、必ずしも一般的でない考え方も含まれています。

	(左の考え方に)			
	1 ま っ た く 賛 成	2 い ど え ち ば ら 賛 成 と	3 い ど え ち ば ら 反 か 対 と	4 ま っ た く 反 対
	それぞれ番号1つに○			
① 生涯を独身で過ごすというのは、望ましい生き方ではない	1	2	3	4
② 男女と一緒に暮らすなら結婚すべきである	1	2	3	4
③ 結婚前の男女でも愛情があるなら性交渉をもってかまわない	1	2	3	4
④ どんな社会においても、女らしさや男らしさはある程度必要だ	1	2	3	4
⑤ 結婚しても、人生には結婚相手や家族とは別の自分だけの目標を持つべきである	1	2	3	4
⑥ 結婚したら、家庭のためには自分の個性や生き方を半分犠牲にするのは当然だ	1	2	3	4
⑦ 結婚後は、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
⑧ 結婚したら、子どもは持つべきだ	1	2	3	4
⑨ 少なくとも子どもが小さいうちは、母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい	1	2	3	4
⑩ いったん結婚したら、性格の不一致くらいで別れるべきではない	1	2	3	4
⑪ 結婚していなくても、子どもを持ってかまわない	1	2	3	4
⑫ 結婚した男性にとって、家族と過ごす時間は仕事の成功よりも重要だ	1	2	3	4
⑬ 女性が最初の子どもを産むなら20代のうちがよい	1	2	3	4

問24 あなたの結婚前までの身近な状況について、おたずねします。以下の①～④について、右の欄のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は、5に○をつけてください。

	1 あ て は ま る	2 あ ど ち は ら ま か と い え ば	3 あ ど ち は ら ま か と い え ば	4 あ て は ま ら な い	5 該 当 し な い	
		それぞれ番号1つに○				
結婚前までの 身近な状況	① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	1	2	3	4	—
	② 両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた	1	2	3	4	5
	③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思っていた	1	2	3	4	5
	④ 同年代の友人やきょうだいに、子どもを持っている人が多かった	1	2	3	4	5

● ここからは、**お子さんをお持ちの方**に育児期の状況についてうかがいます。
 お子さんをお持ちでない方は、問29へ進んでください。

問25 あなた方ご夫婦が**お子さんをお持ちになったとき**のあなたの**お仕事**についておたずねします。下のa~fの各時期における(1)おつとめの状況、(2)おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

おたずねの対象者 ↓	おたずねの時期 ↓	(1)おつとめの状況※1						(2)おつとめ先の従業員数 (本社・支社を含む)						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業主・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 1人	2 10人	3 30人	4 100人	5 300人	6 1000人以上	7 官公庁
生第1 だ子 方を	a. 第1子の妊娠がわかったとき	1~6のあてはまる番号に○をつける 1~4に○をつけたときは右の欄に進む						(1)で1~4に○をつけたときだけ あてはまる番号に○をつける						
	b. 第1子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
生第2 だ子 方を	c. 第2子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	d. 第2子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
生第3 だ子 方を	e. 第3子の妊娠がわかったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7
	f. 第3子が1歳になったとき	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7

※1 産休・育児休業中の場合は就業とみなします。休業前のおつとめの状況に○をつけてください。
 ※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人目までの記入で結構です。
 ※ 生んだお子さんが1歳未満の場合は、「1歳になったとき」について空欄のまま結構です。

問26 一番下のお子さんを**生んだあと**と**現在までの間に**、(1)お仕事につきましたか。お仕事についた場合、(2)そのお仕事のおつとめの状況と、(3)就業した時期についてお答えください。また、(4)お仕事についた理由について、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

<p>(1)就業の有無</p> <p>1. 出産前の仕事・職場に復帰した</p> <p>2. 新たに仕事についた</p> <p style="margin-left: 20px;">(2)おつとめの状況</p> <p style="margin-left: 40px;">1. 正規の職員</p> <p style="margin-left: 40px;">2. パート・アルバイト</p> <p style="margin-left: 40px;">3. 派遣・嘱託・契約社員</p> <p style="margin-left: 40px;">4. 自営業主・家族従業者・内職</p> <p>3. その後、仕事にはついていない</p>	<p>(3)就業時期</p> <p>一番下のお子さんが ()歳のとき</p> <p>※1歳未満の場合は ()ヶ月のとき</p>	<p>もあつてもまもる番号すべにはに◎○ををつける</p> <p>(4)お仕事についた理由</p> <p>1. 経験・技能を生かしたい</p> <p>2. 居場所や人間関係を広げたい</p> <p>3. 時間に余裕ができた</p> <p>4. 親族や知り合いに頼まれた</p> <p>5. 自分の収入を得たい</p> <p>6. 子どもの教育費のため</p> <p>7. 生活費のため</p> <p>8. 貯蓄のため</p> <p>9. その他 ()</p>
---	---	--

※複数回仕事についた場合は、最初についたお仕事についてお答えください。

● ひきつづき、お子さんをお持ちの方 にかがいます。

問27 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間について、(1)ご夫婦のそれぞれのお母さまとは同居していましたか。また、同居居とは別に(2)子育ての手助けはありましたか。第1子、第2子、第3子について、それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

おたすねのお子さん ↓	あなた(妻)のお母さま				夫のお母さま			
	(1)同居		(2)子育ての手助け		(1)同居		(2)子育ての手助け	
	1 同居	2 同じ市区町村内で別居	3 それ以外の地域で別居	4 すでに亡くなっていた	1 ほとんどなかった	2 ときどきあった	3 ひんぱんにあった	4 日常的にあった
第1子	あてはまる番号1つに○				あてはまる番号1つに○			
第2子	あてはまる番号1つに○				あてはまる番号1つに○			
第3子	あてはまる番号1つに○				あてはまる番号1つに○			

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

問28 あなた方ご夫婦のお子さんが3歳になるまでの間、(1)おもに居住していた都道府県はどこですか。また、(2)以下の制度や施設を利用しましたか。第1子、第2子、第3子について、都道府県を回答し、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

おたすねのお子さん ↓	(1) おもに居住していた都道府県 (海外の場合は国名) ※1	(2)利用した制度・施設														
		1 産前・産後休業制度	2 育児休業制度(妻)	3 育児休業制度(夫)	4 育児時間制度・短時間勤務制度(妻)	5 育児時間制度・短時間勤務制度(夫)	6 認可保育所(小規模認可保育所含む)	7 認定こども園	8 事業所内保育施設	9 その他の認可外保育施設(保育室・ベビーホテルなど)・認証保育所	10 保育ママ(家庭的保育)	11 ベビーシッター(居宅訪問型保育含む)	12 ファミリー・サポート・センター	13 一時預かり事業	14 子育て支援センター・つどいの広場など地域の親子交流や相談の場	15 どれも利用しなかった
第1子	1. 現在と同じ都道府県 2. 下記の場所 都道府県 _____	あてはまる番号すべてに○														
第2子	1. 現在と同じ都道府県 2. 下記の場所 都道府県 _____	あてはまる番号すべてに○														
第3子	1. 現在と同じ都道府県 2. 下記の場所 都道府県 _____	あてはまる番号すべてに○														

※1 おもに居住していた都道府県とは、各お子さんが3歳になるまでの間、最も長く住民登録していた都道府県(または国)です。

※ お子さんが4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

● **すべての方** にかがいます。

問29 あなた方ご夫婦は、お子さんにどの程度の教育を受けさせたい（受けさせたかった）ですか。あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。男の子または女の子がいない場合も、いると仮定して、(1)男の子、(2)女の子それぞれについてお答えください。

(1) 男の子の教育 (いない方は、いると仮定して記入)		(2) 女の子の教育 (いない方は、いると仮定して記入)	
あてはまる番号1つに○		あてはまる番号1つに○	
1. 中学校	5. 大学	1. 中学校	5. 大学
2. 高校	6. 大学院	2. 高校	6. 大学院
3. 専修・専門学校(高卒後)	7. その他	3. 専修・専門学校(高卒後)	7. その他
4. 短大・高専	()	4. 短大・高専	()

● **現在の結婚以前のお子さん** にかがいます。

問30 あなたが現在の結婚以前に生んだお子さんはおられますか。あてはまる番号に○をつけ、おられる場合はお子さんの出生年月を記入してください。

(1) 現在の結婚以前に生んだ お子さんの数	(2) お子さんの出生年月
あてはまる番号1つに○ 0. 子どもはいない	1人目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月出産
1. 1人	2人目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月出産
2. 2人	3人目 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月出産
3. 3人	
4. 4人以上 (____)人	

※4人以上いらっしゃる方は、3人までの記入で結構です。

● **ご自身が再婚の方** にかがいます。
再婚経験がない方はここで調査は終わりです。末尾のご意見の欄にお進みください。

問31 あなたの最初の結婚について、あてはまる番号に○をつけ、年月を記入してください。

(1) 最初の結婚生活を始めた年月	(2) 同居をやめたとき、または死別の年月
[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月

● 以上で質問は終わりです。以下は自由記述欄です（ご意見等が無ければ空欄のままでかまいません）。

結婚や出産・子育ての体験を通じて、導入して欲しい施策、あるいは充実してほしい施策があれば、下の欄に自由にご記入ください。

そのほか、本調査について、あるいは結婚、出産、子育て、少子化、人口問題などについて、ご意見などがございましたら、下の欄に自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
ご回答いただいた調査票は回収用の封筒に入れ、折りづけしたうえで調査員にお渡しく下さい。
封筒は国立社会保障・人口問題研究所へ届くまで、途中で開封されることはありません。

※ 貴重なお時間をいただきましたことをこころから感謝申し上げます。本調査の結果は当研究所における統計分析を通して、国民の皆様の生活向上に役立てられることとなります。なお、過去の結果については、下記に掲載しています。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs15/>

§ 調査についてのご説明

◇ 出生動向基本調査とは？

この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育てについて調べる全国標本調査で、ほぼ5年ごとに実施されてきました。今回は15回目にあたります。ご夫婦の方への調査と、独身の方への調査の2種類があります。

◇ 調査の目的

国や自治体は、さまざまな施策を実施するにあたって、住民のおかれた状況や問題を把握しておかなくてはなりません。この調査は、国民の皆さまの結婚、出産、子育ての状況を把握し、これにかかわる政策的な課題を社会科学的立場から探ることが主な目的です。とりわけ今日の日本では少子化が進行しており、これにともなう人口の減少と高齢化、そしてひとりひとりの生き方の変化が、今後の日本社会に大きな影響を与えるとの指摘がされています。この少子化の現状を把握し、原因を究明することは、本調査の大切な課題のひとつです。

◇ 調査の対象

この調査は、全国から無作為に選ばれた地域にお住まいの方々を対象としており、以下の2つのグループの方々に別々の調査票を用意しています。

【結婚されている方への調査票】（黄色の調査票）

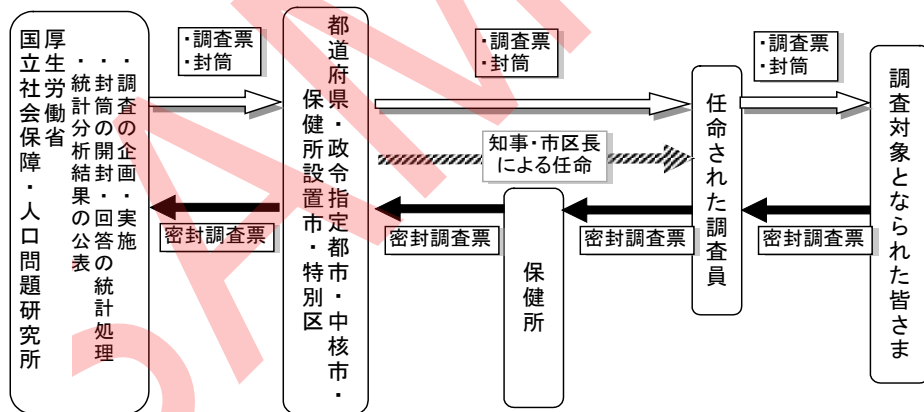
—— 届出の有無を問わず、結婚されている50歳未満の女性の方すべてが対象です。

【独身の方への調査票】（緑色の調査票）

—— 18歳以上50歳未満の独身の方（男性および女性）すべてが対象です。

◇ 調査のしくみ

この調査は、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省に所属する国立の研究機関）が、統計法に基づく総務大臣の承認を受けて、国、都道府県（または政令指定都市・中核市・保健所設置市・特別区）、地域の保健所と連携して実施します。調査は、知事（市長・区長）から任命された調査員が皆さまのお宅にうかがい、調査票の配布、および回答いただいた調査票（封筒に入れて密封したもの）を回収する方法で行います。



◇ プライバシー・個人情報の保護について

この調査票上の回答はすべて統計を作成する目的だけに用いられ、それ以外の使用は「統計法」という法律で固く禁じられています。皆さまに回答いただき回収用封筒に密封された調査票は、調査員が回収した後も開封されることなく国立社会保障・人口問題研究所に届けられ、その後は厳重な管理の下に置かれます。統計を作成する過程では個人を特定する情報はすべて除外されます。したがって、個人情報が増えることは絶対にありません。

◇ その他のお問い合わせ

回答方法などについてのお問い合わせは、調査員におたずねください。また、本調査の詳細情報、これまでの調査結果、よくあるお問い合わせなどについては、インターネット上に出生動向基本調査のホームページを開設して紹介しています。そちらをご参照ください。

出生動向基本調査ホームページ・アドレス（対象者用） <http://www.ipss.go.jp/nfs15/>